

2026 年度に予定している主な施策

2026 年 4 月 24 日

1. 2026 年度の重点取り組みと目標

- (1) I M I の組織強化と関連人材の確保
 - ・国際部門、先端最適化・量子数理部門の立ち上げ
 - ・上記部門やマス・フォア・ライフ分野を含めた優秀な人材の確保
- (2) 研究活動の活性化
 - ・年間論文数：90 件
- (3) 異分野連携（特に、マス・フォア・ライフ、量子関連）の強化
- (4) 国際連携活動
- (5) 地域との連携活動（アウトリーチ活動）

2. 具体的な取り組み内容

- (1) I M I の組織強化と関連人材の確保
 - ・先端最適化・量子数理研究部門の設立（2026 年 4 月に設置済）、新規人材の採用
 - ・国際連携展開部門の設立（2026 年 4 月に設置済）、新規人材の採用
 - ・公的統計オンサイト施設（2025 年 6 月設置）の運営
 - ・共同研究推進拠点「次世代ものづくりイノベーション推進拠点」（住友電装株式会社）（2025 年 10 月～2028 年 9 月、予定）での活動
- (2) 研究活動の活性化
 - ・共共拠点としての公募制の共同利用研究：40 件
 - ・コロキウム実施予定数：年 8 回
 - ・SGW 課題数：3 件（予定）
- (3) 異分野連携（特に、マス・フォア・ライフ、量子関連）の強化
 - ・研究開発と Society5.0 との橋渡しプログラム（BRIDGE）のうち「量子数理教育」部分（2025 年度～、約 15,000 千円 x 3 年）
 - ・MfIP による異分野交流事業（脳科学学会連合、バイオものづくりグループとの連携で、セミナー等を 3 件開催予定）
- (4) 国際連携活動
 - ・日 ASEAN 科学技術・イノベーション協働連携事業(NEXUS)指導者人材交流コース（3,000 千円）、若手人材交流コース（7,000 千円）
 - ・マレーシア工科大学（UTM）より、教員 2 名、研究者 2 名、学生 3 名が IMI 滞在予定（2026 年 9 月 IMI 招へい）

- ・マス・フォア・インダストリ研究所教員 2 名、学生 3 名がマレーシア工科大学（UTM）滞在予定
- ・Malaysia – Japan Symposium on Mathematical and Statistical Modelling
（2026/09/03）の開催

（5）地域との連携活動（アウトリーチ活動）

- ・福岡県高校生対象 IMI アウトリーチ 福岡県教育庁との共同運営（対面約 100 名）
（2026 年 8 月 21 日開催予定）
- ・大阪府立大手前高校の受入れ（2026 年 7 月 30 日、31 日）
- ・産業数理統計チュートリアル（2026 年 12 月に開催予定）